

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	0406	在来生物対策事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	ゼニタナゴ生育環境の整備					
対象	矢沢地域の自然保護を考える会					
意図	ゼニタナゴの生育環境を整備する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○水路2面装工(柵渠) L=24m(全体L=74m)						
中山間ふるさと・水と土保全対策事業(県基金)導入 材料支給、重機借上により地元組織(矢沢地域の自然保護を考える会)が主体となり実施						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		<input type="checkbox"/> 後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標(上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	水路整備延長	m	計画	30	24	24
			実績	30	24	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標(上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	水路の管理については行政が行う必要があり、県は土地改良施設として整備した施設の補修費として、市に対して支援する。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	計画的な修繕を行うことにより、施設の維持管理が容易となる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業費は施設補修にかかる材料と重機借上料であり、削減余地はない。 労力は地元からの協力を得るものである。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	希少生物であるゼニタナゴの保護が図られるので、公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
ゼニタナゴを保護するため、市が材料支給と重機借上の支援を行い、矢沢地域の自然保護を考える会と協力して環境を整備することにより、永続的な保全を努めることができた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	01	07	0406	在来生物対策事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,000		1,000
財源内訳	国・県		1,000		1,000
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 25 年度 ~ 平成 27 年度]
------	--------------------------------	--	-----------------------

部経営方針における目標

豊かな自然と生活環境を守りきらめくイーハトーブはなまきをつくる

事業開始の背景・経緯

県営土地改良事業で整備され、市が譲与を受けた希少生物（ゼニタナゴ）の保護のためのピオトーブ施設について、補修が必要となったことから、県基金事業を導入して整備をする。

事業概要

○水路2面装工（柵渠） L=24m（全体L=74m）

中山間ふるさと・水と土保全対策事業（県基金）導入
材料支給、重機借上により地元組織（矢沢地域の自然保護を考える会）が主体となり実施

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

整備にあたっては、希少生物保護という観点から専門的な知識が必要。また、地元組織の協力が不可欠であり、地元からの要望に沿った形で実施することが必要である。

担当部署 部名 生活福祉部 課名 生活環境課 担当係長 似内 泉 内線 255

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

